

施策マネジメントシート

施策名	行政評価 施策体系	文化・芸術活動の充実	施策 統括課	生涯学習課	氏名	津田 智宏
政策名		ひとを育てる・守る	施策 関係課	公民館		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	・市民
意図(対象をどう変えるのか)	・文化・芸術活動に親しむ

対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
エ	

成果指標(意図の達成度の指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 過去1年間に文化・芸術活動を鑑賞した市民の割合	%
イ 過去1年間に文化・芸術活動をおこなった市民の割合	%
ウ	
エ	
オ	

2 第2次基本計画期間(平成23～27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
文化・芸術を発信するための基盤整備	文化・芸術の創作活動に関して、ネットワークの整備などを幅広く行い、くにたちの芸術文化を発信します。文化・芸術活動を行っている市民・団体が活動に関する発表会等ができるように場と機会を拡充します。
人材の発掘・育成・活用	人材を確保し、活用できるシステムを構築します。市民芸術小ホール、くにたち郷土文化館、公民館、学校等の施設を活用し、芸術家や専門家、関係団体等と連携して文化人や芸術家を生み出す環境をつくります。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

単位		数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
対象指標	人	見込み値									76,000	
		実績値	73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,381	74,303	74,546	
		見込み値										
		実績値										
成果指標	%	成り行き値				50.5	50.5	50.5	50.5	50.5	50.5	
		目標値				50.8	52.0	53.2	54.4	55.6	57.0	
		実績値	50.6		50.4	51.6	47.0	49.9	53.9	50.4	50.0	
		基本計画における 施策の目標設定の根拠		第2回国立市市民意識調査において、「鑑賞していないが関心がある」と答えた市民の割合が6.4%であり、その潜在需要を伸ばすことを目標としました。								
	%	成り行き値				25.3	25.3	25.3	25.3	25.3	25.3	25.3
		目標値				25.5	25.8	26.1	26.4	26.7	27.0	
		実績値	25.3		21.8	21.1	20.5	20.7	22.8	21.0	22.3	
		基本計画における 施策の目標設定の根拠		第2回国立市市民意識調査において、文化・芸術に関する施設等の環境が整っており、地域別に最も水準が高い中地域を目標としました。								
	ウ	成り行き値										
		目標値										
		実績値										
		基本計画における 施策の目標設定の根拠										
エ	成り行き値											
	目標値											
	実績値											
	基本計画における 施策の目標設定の根拠											
オ	成り行き値											
	目標値											
	実績値											
	基本計画における 施策の目標設定の根拠											
事務事業数		本数	8	6	5	5	4	4	3	3	4	
施策コスト	事業費	国庫支出金	千円									
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円								36,800	
		その他	千円									
	事業費計(A)	千円	70,777	73,631	76,843	77,752	79,903	75,650	94,328	204,206	89,497	
	延べ業務時間	時間	178	136	186	186	155	540	870	1,040	1,100	
	人件費計(B)	千円	890	680	930	930	775	1,941	3,591	4,441	4,702	
トータルコスト(A)+(B)		千円	71,667	74,311	77,773	78,682	80,678	77,591	97,919	245,447	94,199	

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

国立市は、「文教都市くにたち」としての市民意識が高く、市民の自主的な文化活動と市の文化・芸術事業が市民芸術小ホール、くにたち郷土文化館、公民館、図書館等で行われてきた。活発な文化・芸術活動や個性豊かな文化人、芸術家が多く、またギャラリーなどの民間文化施設も多く存在している。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・伝統文化子ども教室は廃止となったが、ここで実施していた各教室への支援(施設利用の減免等)の要望がある。
 ・文化・芸術活動は行っているが、発表の場が少ない。
 ・くにたちアートビエンナーレについては、事業の柱となる野外彫刻展や様々な新規事業を展開する中、新たな交流や地域の団体、市内の美術館等との協力関係も生まれ、文化が薫るまちづくりに寄与しているとの意見がある。一方、大学通りには彫刻をこれ以上設置してほしくない、市民の意見を聞いて効果的に実施してほしい、との意見もある。

5 27年度の評価結果

(1) 施策の取組状況

27年度行政経営方針	取組状況
国立のまちの景観と賑わいをつくる 4. くにたちアートビエンナーレ支援事業 文化・芸術を通して、まちの魅力や独自性、質的な価値を高め、賑わいのあるまちづくりを創造していく「くにたちアートビエンナーレ」事業については、平成26(2014)年度末に第1回目の野外彫刻展の受賞作品が設置される予定である。これを機に展開していく種々の芸術イベントについても、実施主体のくにたち文化・スポーツ振興財団を支援し、まちの賑わいと回遊性を創出していく。	・「くにたちアートビエンナーレ2015」については、前年度に引き続き、様々なアートイベントを開催した。また、「くにたちアートビエンナーレ2015」を支援するため、庁内各部の庶務担当課長を中心とした支援会議を開催した。 ・芸術小ホールの入館者数は、前年度比46.8%増の62,746名となった。これは、昨年、4か月の施設休館をしたためである。 ・市民文化祭は60回目を迎え、実行委員会形式で実施し、各団体の代表による企画・実行・振り返りを行うことにより、連携が保たれた。 ・公民館主催事業として、銅版画講座など、引き続き初心者向けを中心とした文化・芸術に関連する講座等を開催し、活動への第一歩となるよう取り組んだ。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標達成度(目標値と実績値との比較)	
成果指標ア 【 過去1年間に文化・芸術活動を鑑賞した市民の割合 】	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input checked="" type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標イ 【 過去1年間に文化・芸術活動をおこなった市民の割合 】	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input checked="" type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標ウ 【 】	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標エ 【 】	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標オ 【 】	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
成果指標カ 【 】	<input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下)
時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上) ~ E(かなり低下) C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)	
他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い) ~ E(かなり低い) B:他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である	
背景として考えられること のアについては、26年度に比べビエンナーレ関連事業の総数が減少したことが影響したと考えられる。 のイについては、ビエンナーレ関連事業を市民実行委員会で行ったため、数値が上昇したと考えられる。 については、芸術振興事業を積極的に展開しているものの、市民への浸透が十分になされておらず、成果向上にまでは至らなかったと考ええる。 文教都市の市民としての意識の高さや所得水準の高さから、どちらかと言えば高い水準であると推測される。	

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

・「くにたちアートビエンナーレ」は芸術を育む「良質の土壌づくり」になるとともに、ひいては賑わいの創出につながっていくことから、今後も開催の支援を充実していくことで、「文化が薫るまちづくり」を推進していく。
 ・「くにたちアートビエンナーレ2015」の柱となる野外彫刻作品に関連したイベントを含めて様々なアートイベントを実施し、8月29日に「彫刻と地域アート」をテーマにしたクロージング・フォーラムをもって閉幕した。また、庁内でこれら事業の支援を行った。
 ・市民文化祭や文化芸術公演会を実施した。
 ・文化・芸術活動をしている団体活動のネットワークの整備には至らなかった。

6 施策の課題・今後の方向性

・「くにたちアートビエンナーレ2015」の事業総括をし、「くにたちアートビエンナーレ2017」に向けた準備を進めていく。
 ・文化財を含めた文化力を醸成するため、国立から文化・芸術を発信し、よりいっそうの文化芸術活動が行えるような環境づくりを進めていく必要がある。
 ・文化施設の老朽化が進むなか、安全な使用環境の確保のため施設及び設備機器等の対応が必要である。